

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

(2007年10～12月期)

## 第47回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - （1）前期比（平成19年7～9月との比較）
  - （2）前年同期比（平成18年10～12月との比較）
  - （3）来期見通し（平成20年1～3月の見通し）
5. 業種別の景気動向
  - （1）製造業
  - （2）建設業
  - （3）卸売業
  - （4）小売業
  - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

# 1. 実施概要

## (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	192社
回答率	33.6%
(業種別)	
製造業	67社
建設業	34社
卸売業	18社
小売業	21社
サービス業	28社
合計	168社

## (2) 実施時期

平成19年10～12月期

## (3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

## (4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

## (5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

## 2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採算D I = (好転 " ) - (悪化 " )

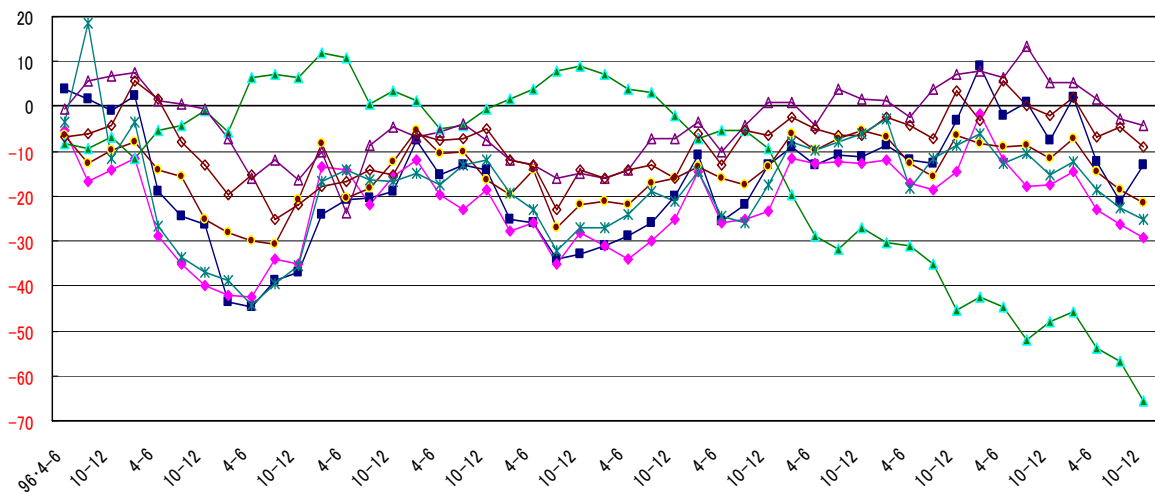
資金繰りD I = (好転 " ) - (悪化 " )

仕入価格D I = (下落 " ) - (上昇 " )

雇用状況D I = (不足 " ) - (過剰 " )

設備投資D I = (拡大 " ) - (減少 " )

業況D I = (好転 " ) - (悪化 " )



前年同期比 (全企業D I の推移)

	05/4-6	7-9	10-12	06/1-3	4-6	7-9	10-12	07/1-3	4-6	7-9	10-12
■売上	-12.1	-12.6	-3.3	8.8	-1.9	1.0	-7.4	2.1	-12.4	-21.1	-13.1
◆採算	-17.2	-18.6	-14.6	-1.5	-12.1	-17.8	-17.5	-14.4	-23.0	-26.3	-29.2
●資金繰り	-12.6	-15.6	-6.6	-8.2	-8.9	-8.7	-11.6	-7.2	-14.6	-18.6	-21.4
▲仕入価格	-31.2	-35.2	-45.3	-42.3	-44.6	-51.9	-48.1	-45.9	-53.9	-56.7	-65.5
△雇用状況	-2.3	4.0	7.1	7.7	6.4	13.5	5.3	5.2	1.7	-2.6	-4.2
◇設備投資	-4.2	-7.0	3.3	-3.1	5.7	0.0	-2.1	2.1	-6.7	-4.6	-8.9
*業況	-18.1	-11.6	-8.5	-6.2	-12.7	-10.6	-15.3	-12.4	-18.5	-22.7	-25.0

### 3. 概況

#### 「依然として厳しい建設業、小売は回復の気配」

##### (1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、前回調査より「仕入価格」は悪化したものの、それ以外は横ばい・若干の改善をみせた。業種別では、卸売・サービス業で、売上・業況ともプラスとなったが、建設業が非常に厳しい数値となった。

前年同期比のD I 値は、「仕入価格」は悪化するも、「売上」が若干の改善をみせた。業種別でみると、サービス業の「売上」・「業況」が改善。小売業がマイナス値ながらも、数値的には大きく改善、GDPの過半数を占める「個人消費」部門を担うため、次回調査が注目される。

一方、ここでも原油価格の高騰による「仕入価格」の悪化がみられ、調査開始以来のマイナス値を記録し、県内中小企業は大きな影響を受けている。

##### (2) 来期の見通し

来期の見通しは、前回調査で改善をみせたが、今回調査ではほとんどの項目で悪化・もしくは厳しい数値となった。

業種別では、公共工事減と一般競争入札で競争が激化している建設業でマイナス値が大きく悪化。前回調査で「売上」D I がプラスであった他業種でも、再びマイナスとなるなど、先行きは不透明な状況。

依然として原油価格の高騰により、「仕入価格」が大きなマイナス値を示し、中小企業の懸念を現している。

##### (3) 経営上の問題点

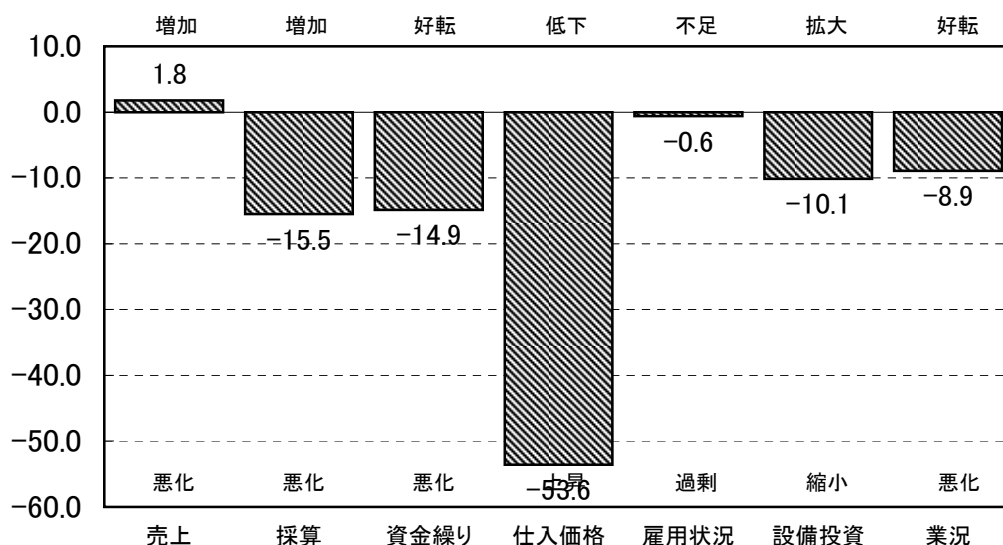
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」と「原材料価格の上昇」がほぼ同じ回答（1位）、3位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」と続く。

##### (4) 今後の対応策

今回は「その他合理化を実施したい」が1位へ躍り出て、「新規市場を開拓したい」が2位、「新製品の開発を行いたい」が3位と続いている。

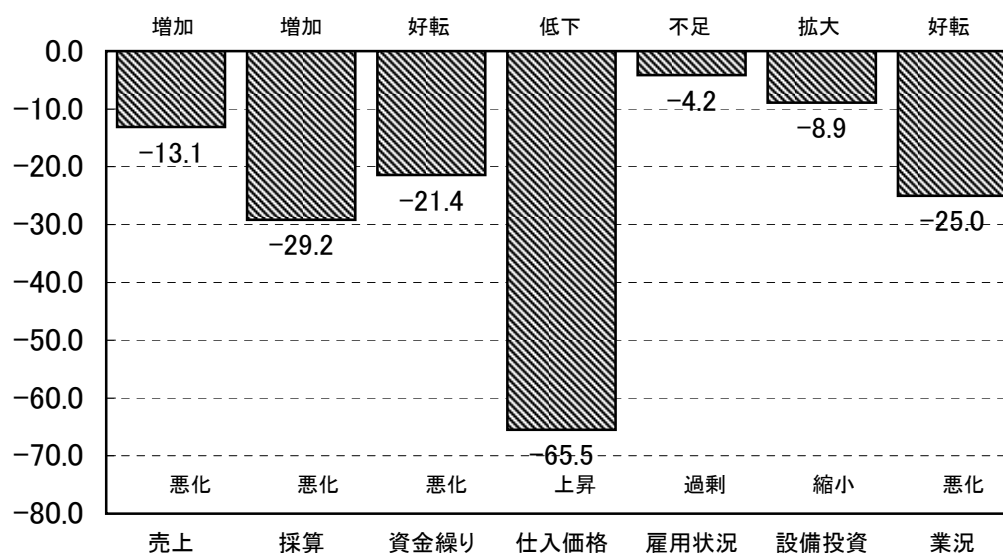
## 4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成19年7～9月比)



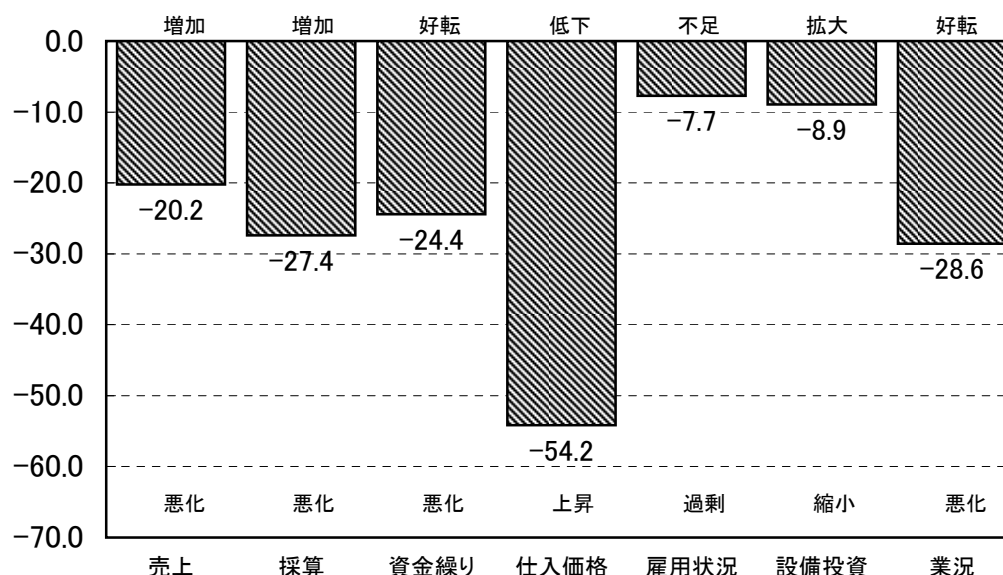
前期比D I値は、前回調査に比べ、仕入価格が悪化した以外は若干改善・横ばいであった。業種別では、卸売・サービス業が、売上・業況ともプラスとなったものの、建設業が非常に厳しい数値となってしまった。

前年同期比(平成18年10～12月比)



前年同期比D Iは、売上が若干の改善をみせた。サービス業の売上・業況が改善。小売業がマイナスながらも、数値的には改善をみせた。一方、ここでも原油価格の高騰による仕入価格の悪化がみられた。

来期見通し(平成20年1～3月見通し)

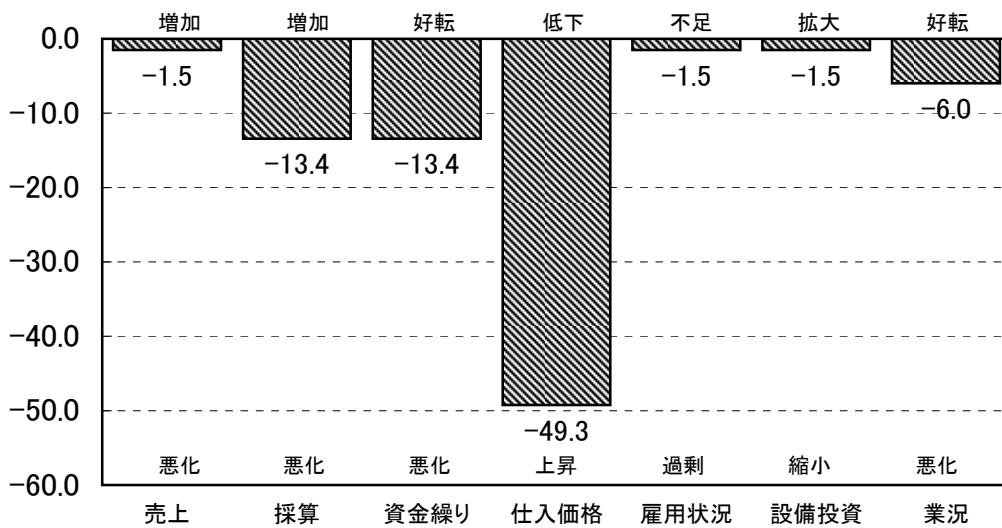


来期見通しD Iはほとんどの項目で悪化もしくは厳しい数値。公共工事減と一般競争入札の建設業でマイナス幅が悪化した。前回調査で売上D Iがプラス値であった他業種も、全業種で主要項目がマイナスとなってしまった。

## 5. 業種別の景気動向

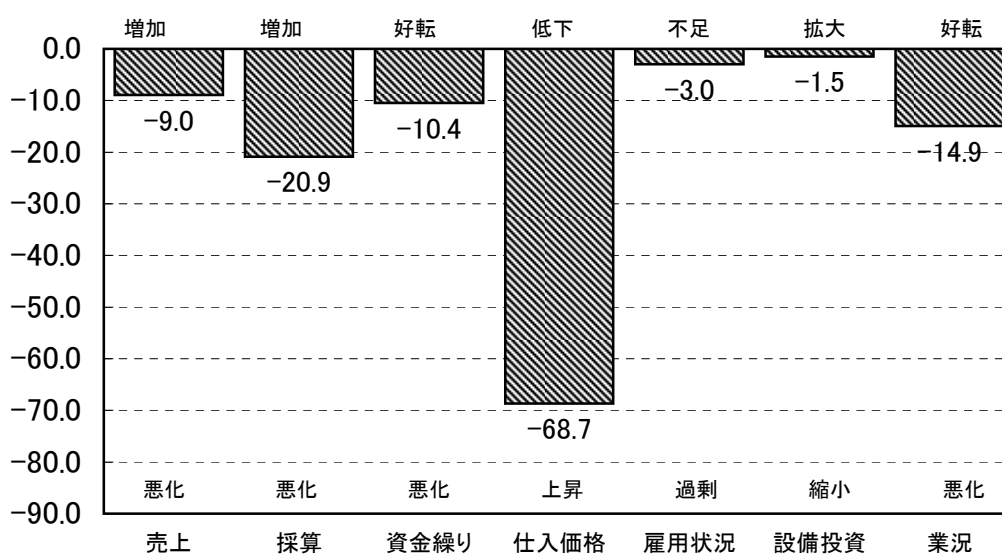
### (1) 製造業

前期比(平成19年7～9月比)



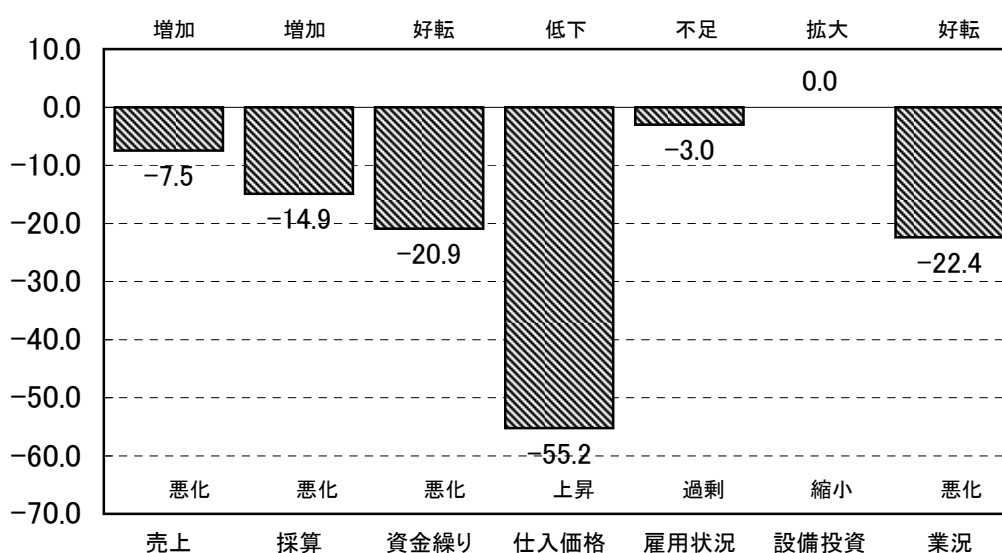
前期比D Iは、売上が若干悪化したものの、前回調査とほぼ同等の数値。受注が増えている業態もあるが、値下がりの続く液晶関連、公共投資削減の影響で建設資材関係が厳しい。

前年同期比(平成18年10～12月比)



前年同期比D Iは、売上・業況がほぼ前回通りの数値。前期比D I同様、業種・業態で好不況が分かれている模様。ただし、共通しているのが、原材料、燃料の高騰。調査開始以来、最も厳しい値を更新した。

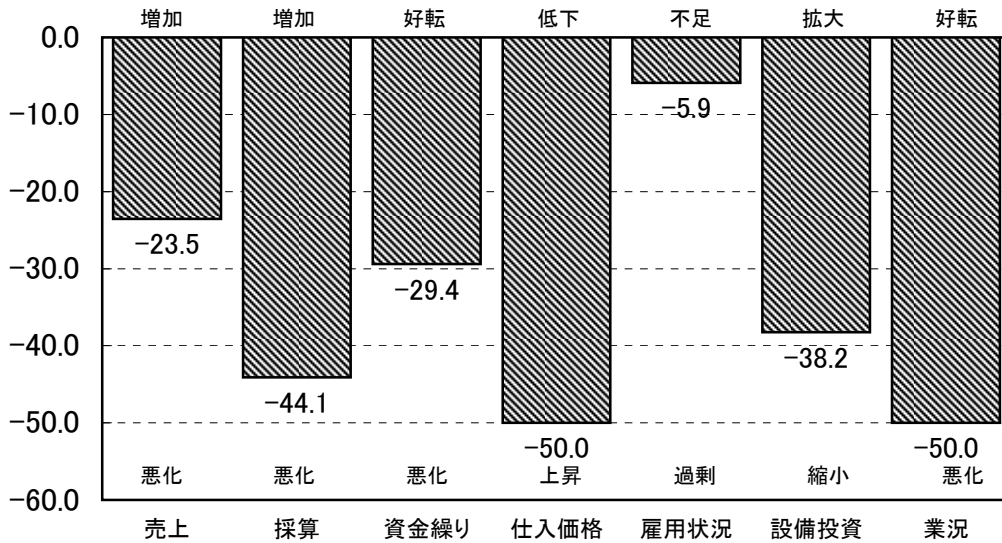
来期見通し(平成20年1～3月見通し)



来期見通しD Iは、前回調査より若干悪化。「年度末に向けてメーカーの在庫調整」との声もあるが、原油価格の高騰や鋼材の値上げ、公共投資削減等、環境的には厳しい。一方では、「見積が増えてきた」(省力化機械部品)と

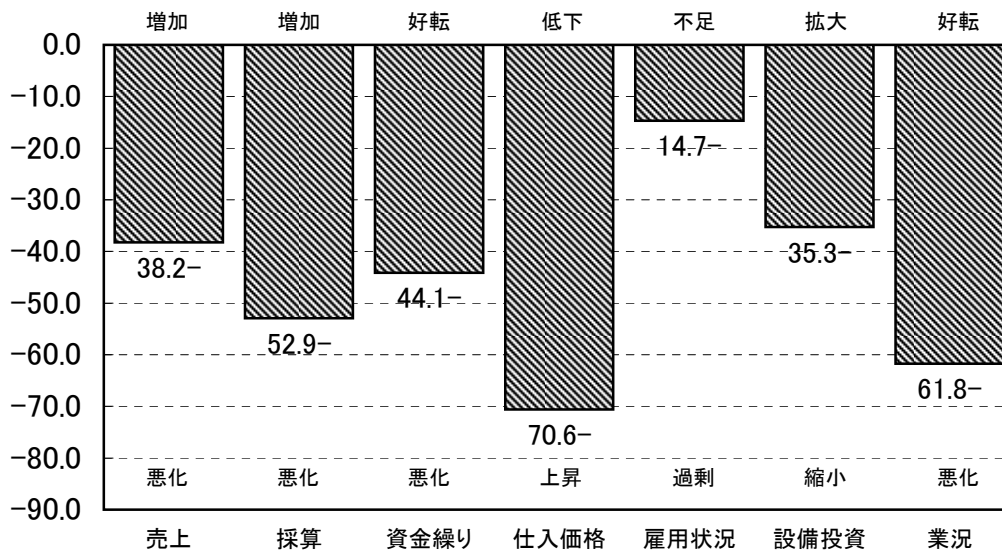
## (2) 建設業

前期比(平成19年7~9月比)



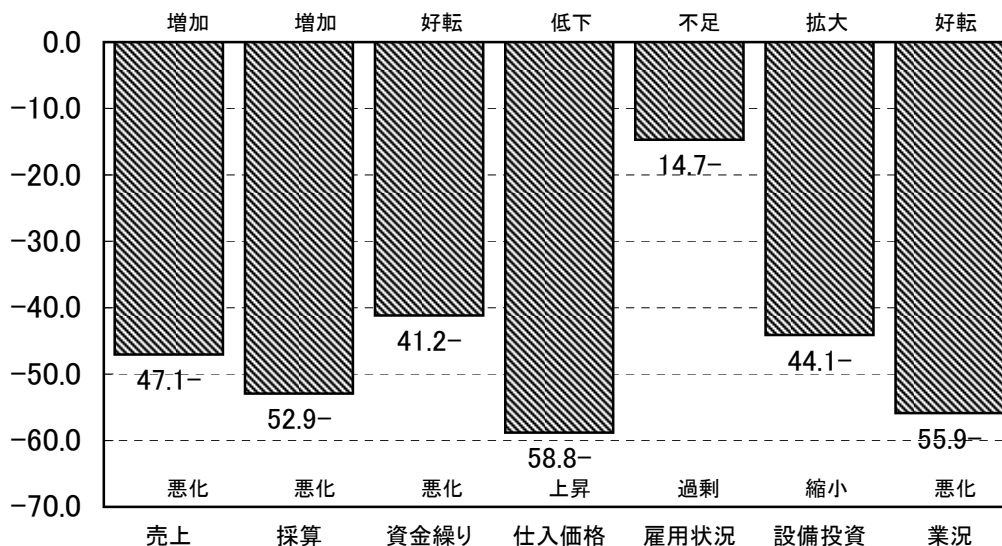
前回調査では、年度初めのどん底から回復を見せかけた建設業の前期比DIであるが、今回調査では、全ての項目において悪化してしまった。公共工事減⇒仕事減+入札制度改革⇒競争激化の構図は変わっていない模様。

前年同期比(平成18年10~12月比)



前年同期比DIは、売上が若干改善したが、ほとんどの項目で全業種中最も悪い数値となっている。競争激化の中、無理な受注で採算悪化、原材料・燃料アップで厳しい状況が、コメントの多さに表れている。

来期見通し(平成20年1~3月見通し)

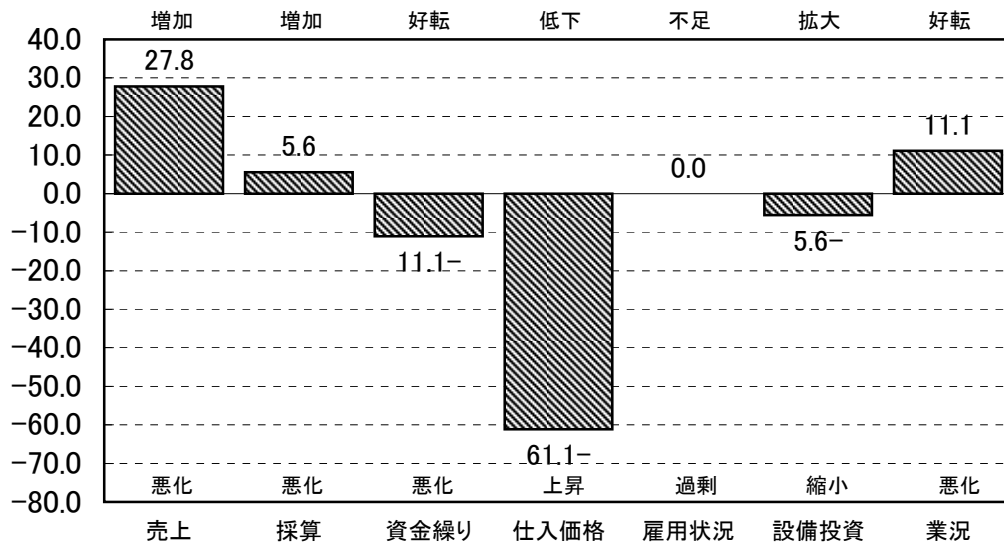


前回調査では改善をみせた来期見通しDIであるが、今回調査では再び悪化、全業種中最も厳しい数値。一般競争入札に関するコメントが多く、改革により建設業が更なる競争激化にさらされていることが浮き彫りになった。



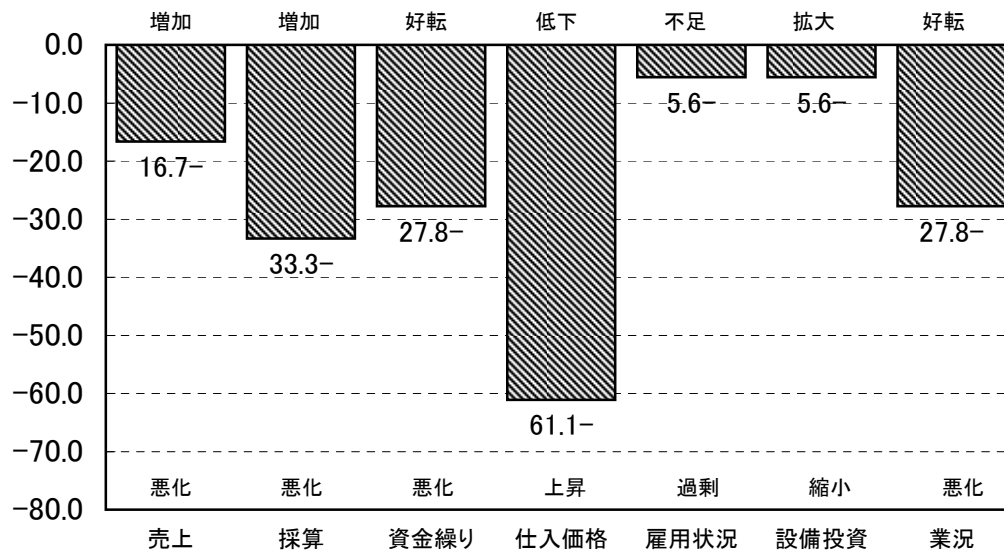
### (3) 卸売業

前期比(平成19年7～9月比)



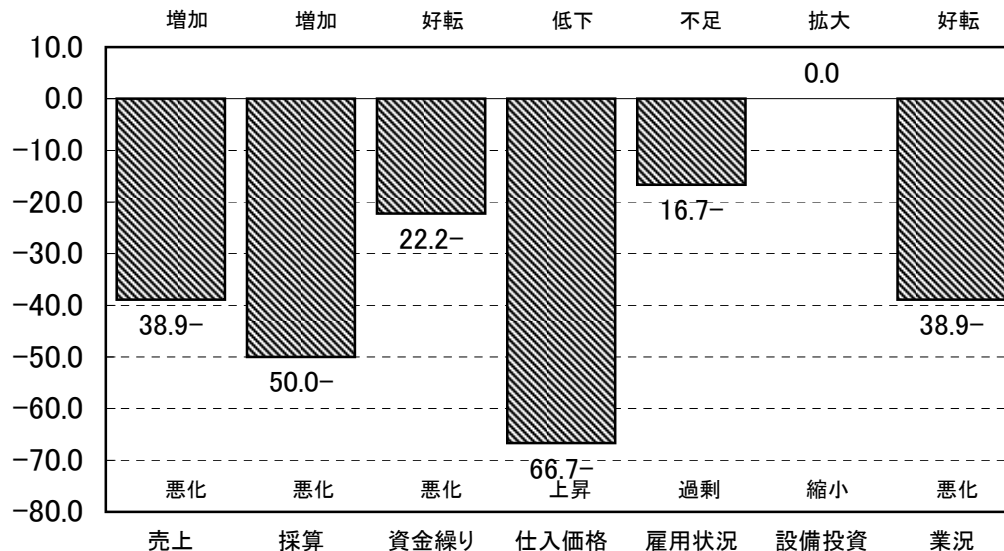
前期比DIは、前回調査より改善をみせ、特に売上に関しては、サービス業とともに全業種中、良い数値を示している。建設資材等は建設業の不振に伴い厳しいが、年末へ向けての需要があるものと思われる。ただし、ここでも仕入れ価格は大きなマイナス。

前年同期比(平成18年10～12月比)



前年同期比DIは売上が若干ではあるが改善したものの、他項目は悪化するなど、一進一退。「競争激化のため、増収・減益」(機械工具)が実情を表しているものと思われる。

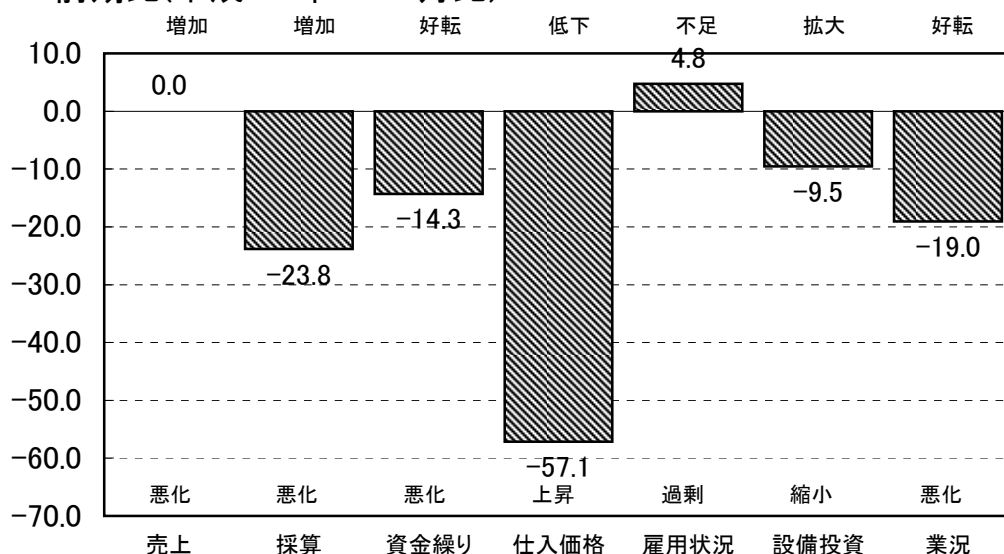
来期見通し(平成20年1～3月見通し)



前回調査ではプラスであった来期見通しの売上DIであるが、今回は大幅にマイナスとなった。今期が良かった反動ともとれるが、原油価格高騰、仕入れ価格上昇に伴う、採算悪化が懸念される。

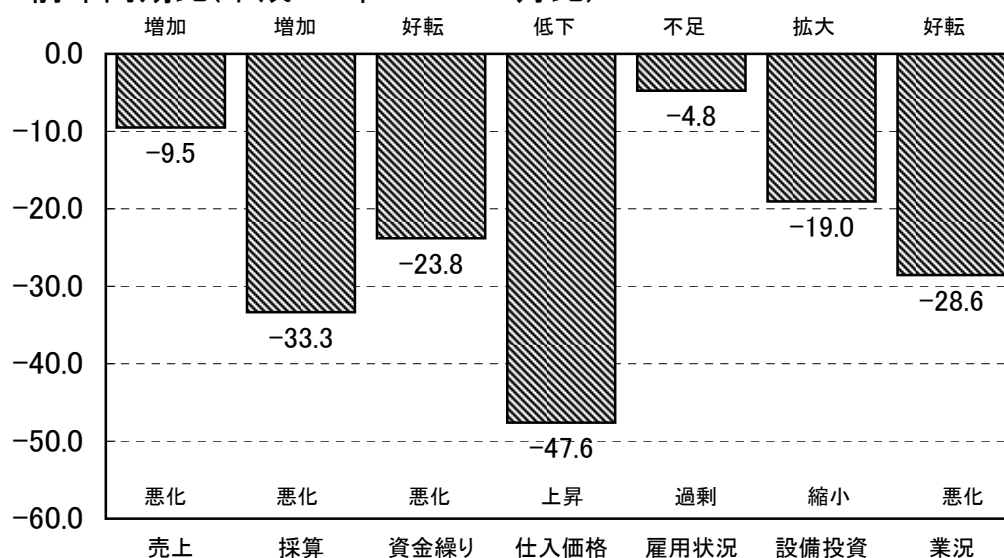
## (4) 小売業

前期比(平成19年7～9月比)



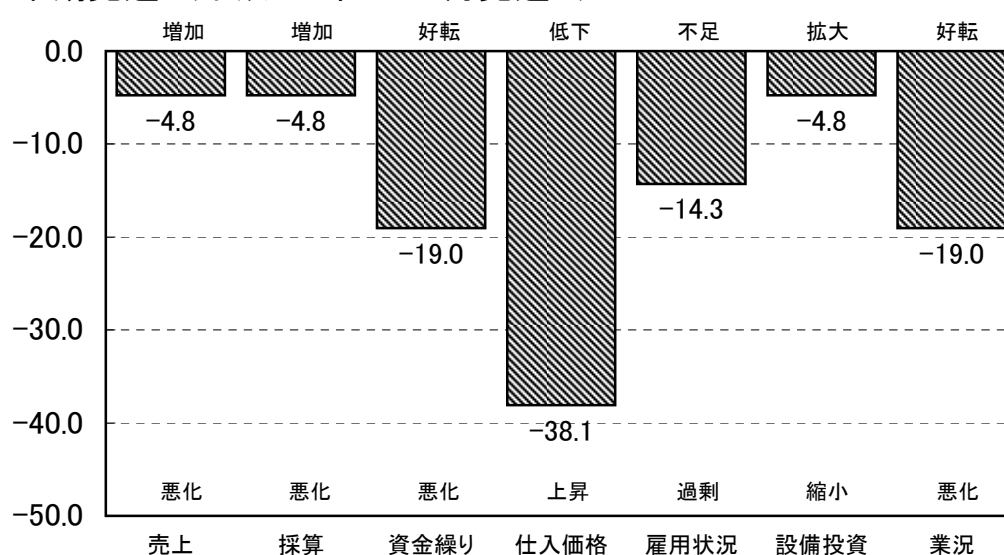
前期比DIは、売上がマイナス値からゼロへと改善したが、その他の項目はほぼ不変。コメント的には「悪化」が多いが、卸売同様、年末需要が寄与しているものと思われる。

前年同期比(平成18年10～12月比)



前年同期比DIは、全業種の中で足を引っ張っていた売上DIが前回調査より大幅に改善をみせた。「悪化」に対するコメントが「改善」を大きく上回っており、次回調査結果を注目したい。

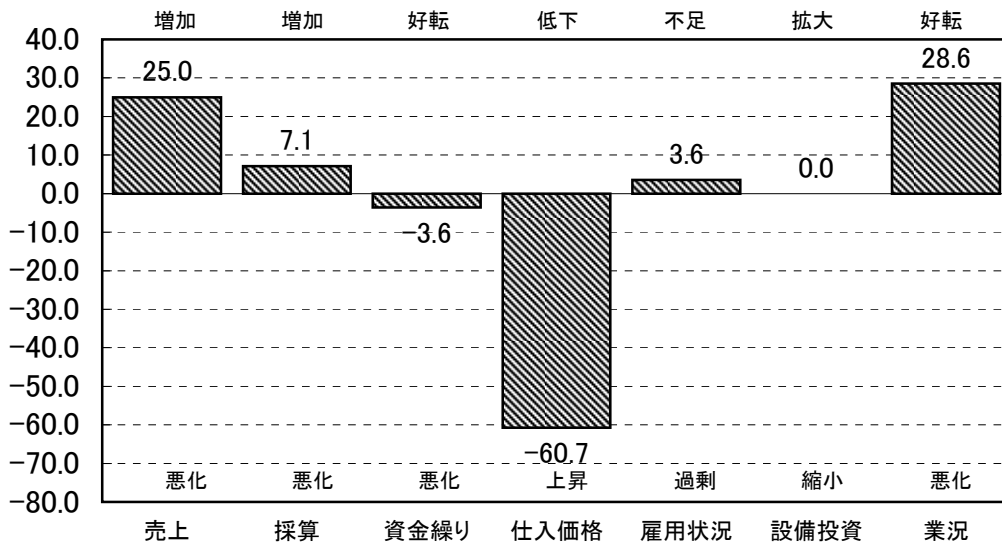
来期見通し(平成20年1～3月見通し)



来期見通しDIは、前回調査より悪化しているものの、他業種と比較すると良い部類に入る。「卒業・入学等の行事に期待」とともに、GDPの大半を占める部門（個人消費）であるため、次回数値に注目。

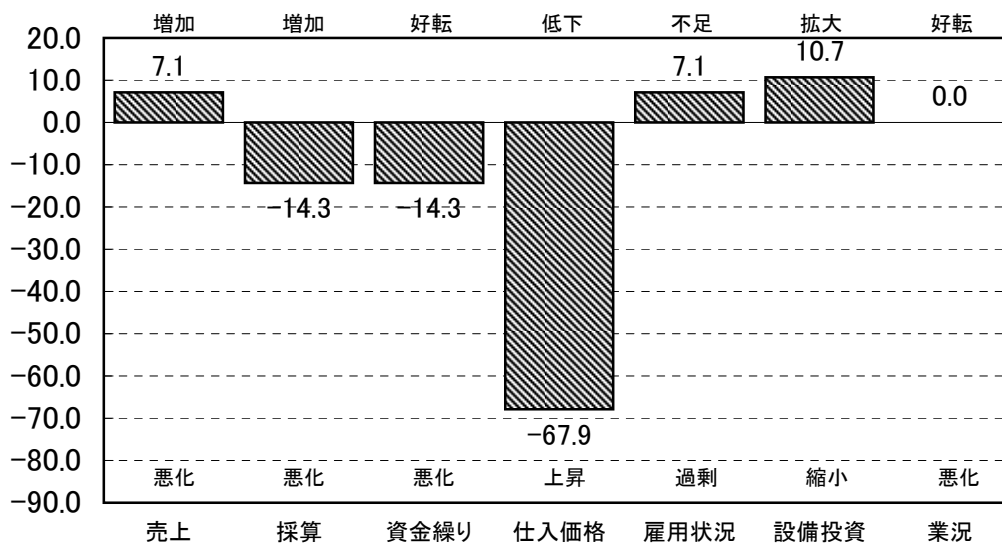
## (5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成19年7~9月比)



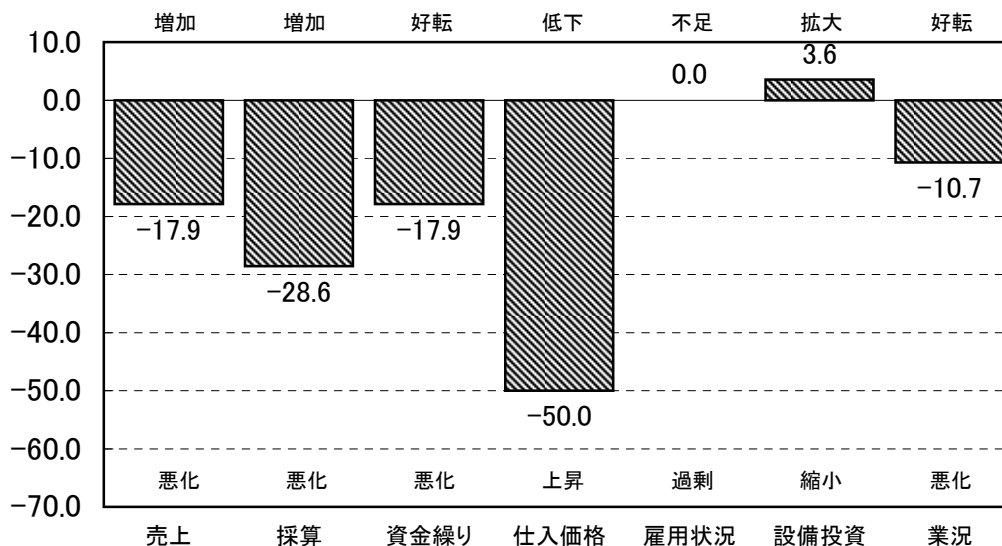
サービス業の前期比DI値は、売上・業況が全業種中で最も良好な数値。ホテル・旅館にとって、忘年会シーズンに加え、知事のPR効果が現れているものとみられる。一方では、仕入価格は悪化しており、ここでも原油価格の高騰が響いている。

前年同期比(平成18年10~12月比)



前年同期比DIでも、売上・業況は改善をみせたが、仕入価格は大きく悪化している。やはり、知事のPRで来県客増により、飲食・宿泊が増えているが、仕入・燃料が厳しい模様。

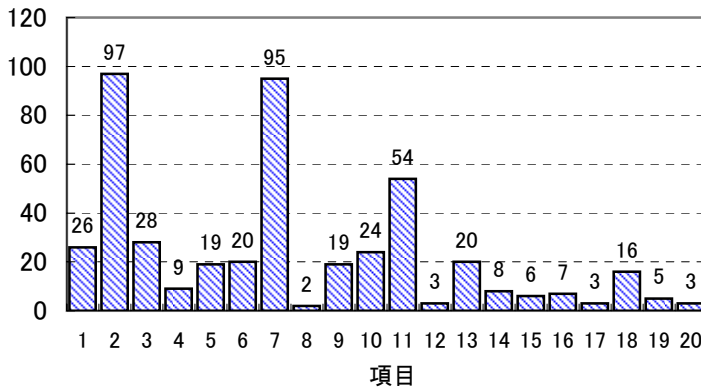
来期見通し(平成20年1~3月見通し)



前期比、前年同期比と改善をみせたDIであるが、来期見通しでは、悪化となった。ただ、悪化のコメントは少なく、「横ばいの見込み」、「大きな変化はないと見ている」との感じが多いようにみられた。

## 6. 経営上の問題点

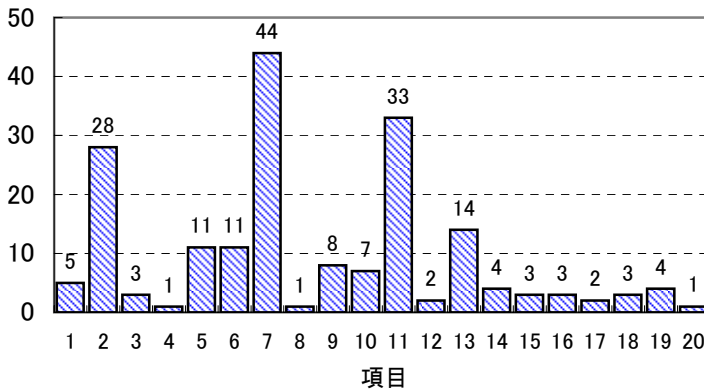
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

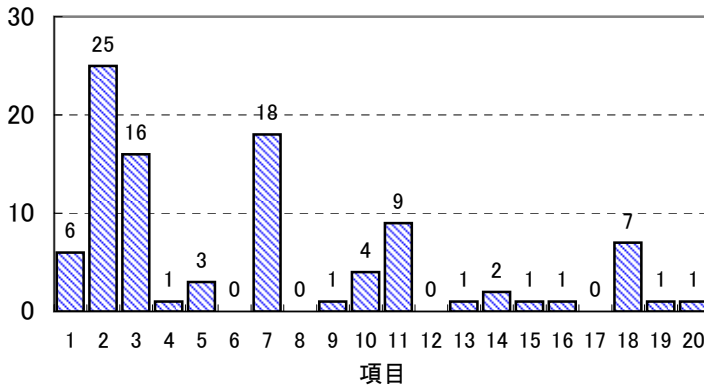
製造業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 需要の停滞
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 生産設備の不足・老朽化

建設業



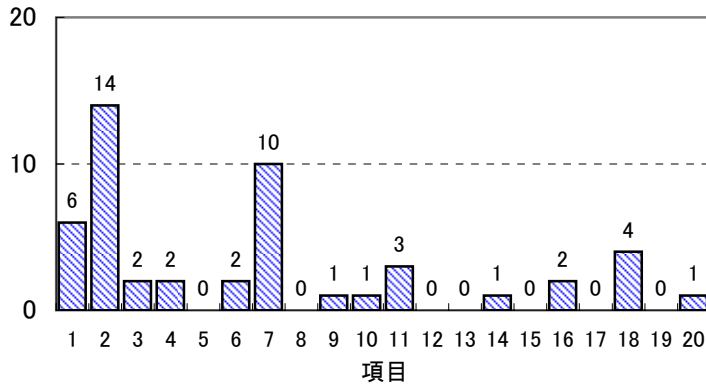
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 取引条件の悪化

### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足             | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

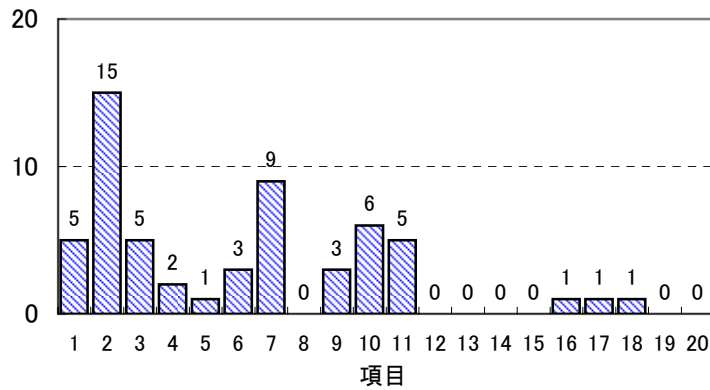
### 卸売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 取引条件の悪化
- 5位 製品(販売)単価の低下・上昇難

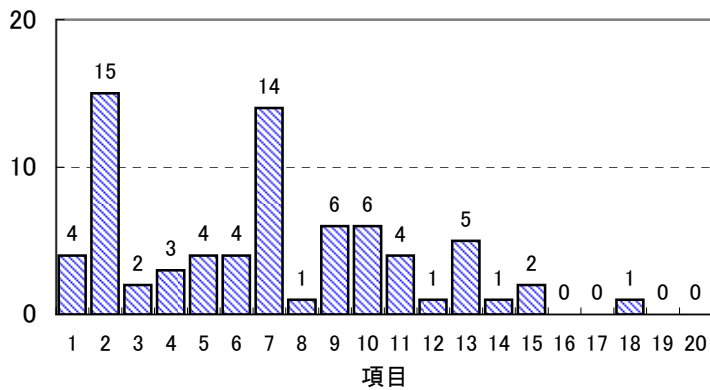
### 小売業



#### 順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 人件費の増加
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

### サービス業



#### 順位

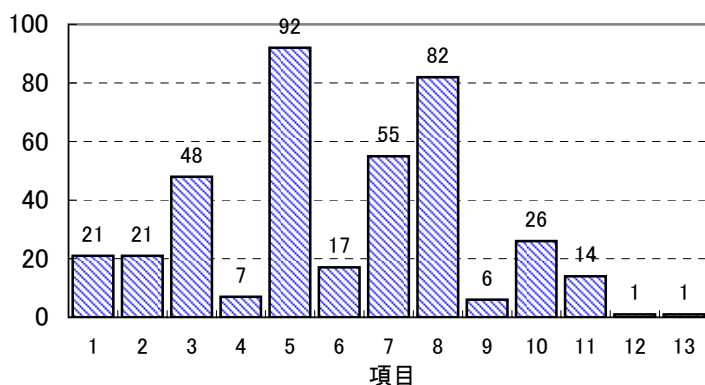
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 原材料・人件費以外の経費の増加
- 4位 人件費の増加
- 5位 熟練技術者(従業者)の不足

#### 項目一覧

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

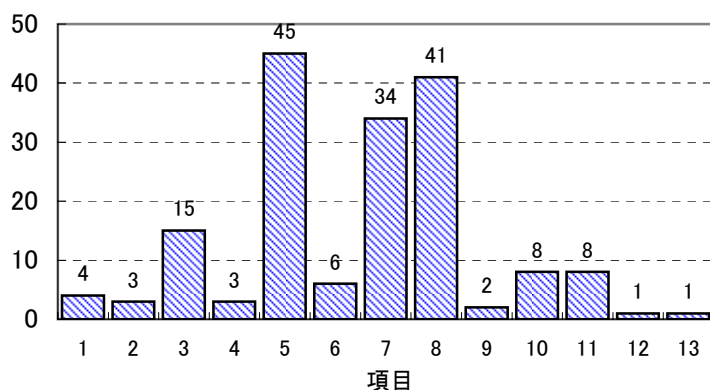
全業種



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

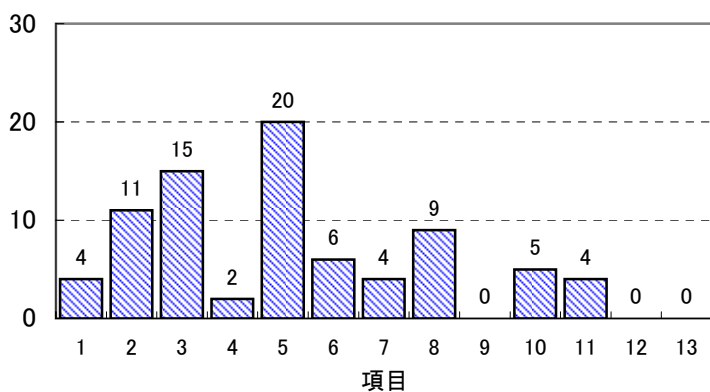
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

建設業



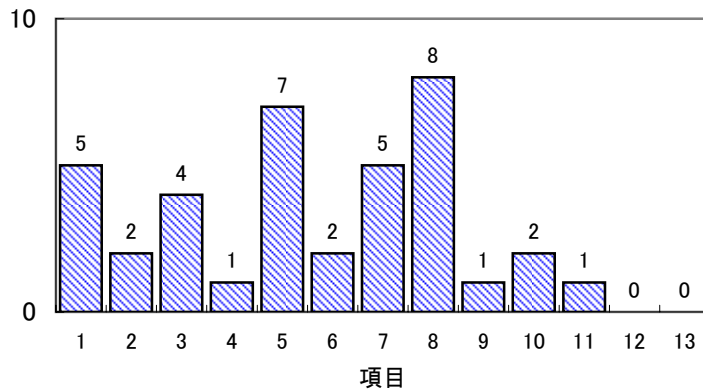
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 雇用調整を行いたい
- 4位 新規市場を開拓したい
- 5位 設備投資を縮小したい

### 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

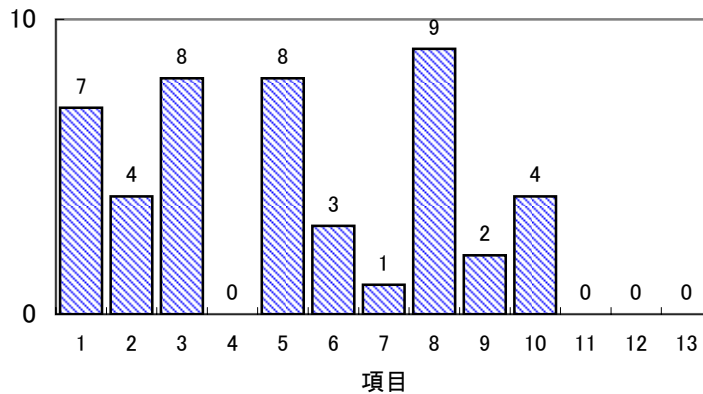
## 卸売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規採用を見合わせたい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

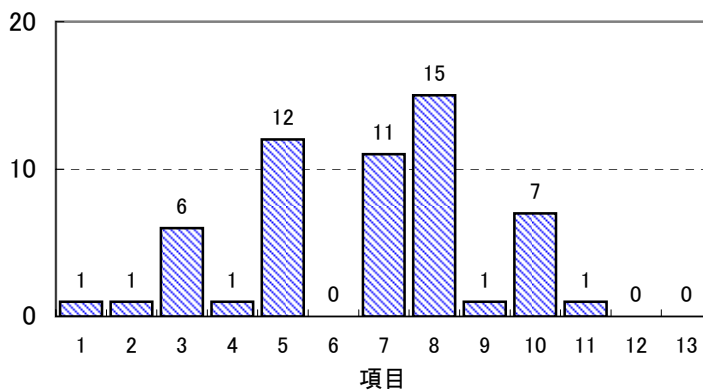
## 小売業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 その他の合理化を実施したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 雇用調整を行いたい

## サービス業



### 順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

## 項目一覧

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい               | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く）   |
| 3. 人件費を削減したい                 | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） |                      |
| 6. 設備投資を縮小したい                | 7. 新製品の開発を行いたい       |
| 8. 新規市場を開拓したい                | 9. 業種転換を行いたい         |
| 10. 経営の多角化を行いたい              | 11. 下請け発注を減らしたい      |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい             | 13. 海外から原料・部品を調達したい  |

## 8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	製材業	都城	石油をはじめ様々な原料の価格が上がり、また比較的大きな雇用や投資を行う住宅建設、その関連業界が大きな打撃を受けております。減税措置、公共工事拡充等でできれば良い。しかし、現状行政の財政も逼迫しているし、難しいと思うが、効率的な景気対策を望む。
製造業	繊維製品製造業	都城	原油価格の上昇を抑える。
製造業	アルミ製品製造業	都城	県に入札制度の再見直し。国と県に建築確認申請書の迅速化
製造業	金属製品製造業	都城	昨年6月の耐震構造強化での改正建築基準法の厳粛化等を受け、建築関連業界は非常に厳しいマーケット環境におかれており、当社もその影響を大きく受けています。要因としては、一昨年からの耐震強度の偽装問題に因るところの改正法ありきで、そのマニュアルが無く設計士の混乱と審査の厳格化等で審査期間の長期化がマーケットでの混乱を招き、建築物件需要の大幅減少となり、特に住居に絡むマンションや戸建て住宅は激減となっております。今後多少の影響は引きずるも、月ごと回復方向に向かうと確信しております。
製造業	製材業	都城	公共工事の現状よりの増加希望
製造業	養豚・有機肥料製造	都城	穀物価格の上昇は企業努力で収益改善できるものではない。国による支援はどのような形であっても必要。
製造業	醤油・味噌製造販売	都城	原料と関連物が次から次へと値上がりしているの、値上げをしてもなかなか採算の取れる線まではむずかしい状況。4月より原料が値上げの状況でいたい「どうなることやらむずかしい状況です。
製造業	金属製品製造業	宮崎	石油製品高等に対する行政指導、行政措置
製造業	都市ガス製造供給販売	宮崎	規制緩和、競争の自由化の波は、中央・地方に拘らず一様に影響が大きいが、頼みの景気刺激となるべき建設関連の動きが土木建築業界ともに、これといった施策がないために、先行きが不透明である。
製造業	IC製造業	宮崎	民間は生き残るためのコスト削減を強いられております。国・県は赤字経営をしても倒産するわけではなく、コスト意識は極めて低いのではないのでしょうか？材際状況や使途状況を国民・県民が分かるように“見える化”を図り、コスト削減し民間記号の税負担軽減に結びつける努力をして欲しい。
製造業	自動車専用部品製造	日南	ガソリンの値上げに伴い客先の製品が変化しつつあり、それに順応していく必要あり。新規開発に対する助成をお願いします。
製造業	コンクリート製品	日南	県南地区は需用の減少が続き、当社日南工場も規模縮小し、他地区工場へ生産拠点を移す方針に切り替える。更に合理化を図り、従業員も配置転換などで削減する。
製造業	紙・パルプ製造	日南	米国のサブプライム問題により株価の低下→景気減速が危惧される。国内消費が落ち込まないよう公定歩合引き下げなどの対策を望む
製造業	建築資材卸	小林	原油の高騰等で不景気に拍車をかける感がする。63
製造業	焼酎製造販売	串間	「芋製焼酎」全国市場への更なる拡販を図っているが、行政サイドでも常時「芋製焼酎」の広域市場への宣伝をお願いしたい
製造業	省力化機械部品	串間	発注企業からのコストダウン要請、原材料その他の経費の高騰で社員の給料も上げたくとも上げられないのが現状です。努力して少しの利益が出てボーナスでも多目にと思っていると税金で持っていけれ零細企業はお先が真っ暗で努力のしがいがありません。大企業は下請けの事も考え適正な対応をして欲しいものです。
建設業	管工事	都城	公共事業の発注の仕方について、年度の予算の使い方を有効的になるようとりくんでいただきたい。年度末に過剰に工事が集中し、ひとつの下請けを数社で使いまわしている状況で、品質の高いものを提供できるのか疑問である。また、多忙すぎる上、若者が離れていき、なかなか後継者が育たないのが現状である。私共、管工事業界の最大の悩みである。



建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	今年に入って、やっと知事も工業関係の話ができるようになりました。時間がかかる問題ですので、早めのアクションをお願いしたい。
建設業	家具製造 内装工事	宮崎	道路特定財源について、格差をなくす様な施工はできないものか。入札制度について、基本的には賛成ですが、これからの建設業が成り立つような入札をしていただきたい。
建設業	管工事冷暖房設備	宮崎	予定価格の公示等を止め、会社の内容を検討を(技術力、実績、経営力等)し、入札制度を業者の立場に立って検討して欲しい。指名条件の基準を業者からもヒアリングして、段階的に変えて欲しい。
建設業	電気工事防災工事	宮崎	一般競争入札制度により、同業参加者が多くなり、受注が取れない。最低価格を割り入札する業者増の傾向が見られる。共倒れ減少が起きないか。官公庁の発注件数が少ない。
建設業	電気設備工事	宮崎	一般競争入札制度で価格崩壊が生じている。せめて、人件費の確保ができる程度の最低価格水準は保ってもらいたい。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	知事の精力的な宣伝もあって、宮崎の農産物は県外に良く知られるようになったが、県全体としては一部でしかない。他産業の振興にも力を入れて欲しい。特に建設産業は冷え切っている。
建設業	建築設計監理	宮崎	設計入札は高い技術力をもつ設計事務所を選定して欲しい。入札は、予定価格の80%以下の低入札者については、業務コストの調査を実施し、品質低下に関係する費目を抽出して失格させて欲しい。
建設業	土木建築とび土工他	宮崎	建設業界は「技術と経営の優れた」業者を残していくという方向で進められてきたが、建設業界は倒産してもそこで就業していた者は、やっぱり建設業の仕事しかできない状況です。新規の事業を考えてもなかなか難しい。
建設業	土木工事業 ほ装工事	宮崎	一般競争入札の落札率の上昇
建設業	建築工事業	宮崎	中小企業の経営環境を整備し、自主的な発展を促すため、中小企業の法人税率を大幅に軽減。交際費は企業経営上必要な経費であり、企業活動の活性化を図るためにも損金不算入制度を大幅に緩和すべきである
建設業	建築塗装	日向	高速道路の建設は進んでいるが、地元業者や経済に反映されていない感がある。4076
建設業	建築一式工事	高鍋	県、国共一般競争入札になるのはやむをえない部分ですが、もう少し地域性を考慮してほしい
建設業	建設業	日南	資材は高くなっているのに設計単価が変わらず、負担は多くなっている工事が多くなっている。
建設業	土木建設業	日南	県、市等における入札で1円差等で落札社が決定するような最低価格を設定するのではなく、国交省のような予定を公表しない入札制度に移行するというのですが、これも技術力や積算担当がしっかりしている会社しか残れないという大手の圧力だと思います。地元は生き残れないですかね。
卸売業	建築資材	都城	発注を年間に均してほしい。年度末に集中して発注しても人員不足等により無駄な経費が発生すること。また、春から夏場にかけて労働者にあそびが生じてしまいますので。
卸売業	建設資材販売施工	延岡	改革とかけ声は大きいですが、実際何が変わったか、格差が広がっただけではないでしょうか。
卸売業	建築資材販売	日向	第1に燃料。第2に土木その他の入札の改革をしないと上昇は難しい。この様な状態が続くと中小企業は金融機関からの借入が困難となる。4104
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	当業界は、構造的な不況業種になっている。新規事業へシフトするためのアドバイスや経営上の問題点等、成長の為に指導コンサル。
小売業	自動車販売整備	宮崎	各種減税を実施すべし
小売業	服飾附属品・手芸	宮崎	市営駐車場を作って欲しい。街中に人が集まる(音楽コンサートできる場所)があると…

小売業	切花鉢物販売	延岡	知事が、日南のスイートピー栽培を視察して、全国にアピールして頂いた、これは、園芸業者にとって、大きな夢と希望をもらい、今後少しでも、園芸業界が、消費者の目にとまる事を期待したい。
小売業	カメラ・写真用品販売	日南	各県の知事が国に対してガソリンの暫定税率(25円)を続行するように陳情に行っておりますが、反対です。廃止して少しでもガソリンの値を下げるべきです。そのままにしておいたら国の税金の無駄使いはやめません。25円で2兆6000億円なくなり、地方への配分が減らされ、高速道路もつくれなくなり地方が大変だといいますが、何故特別会計19年度362兆円20年度368兆円をそのままにしているのか。1%節約するだけで3兆6800億円が使えるのです。2%、3%、4%、5%位できるはずです。個人の企業は30%、40、50%の節約をし、耐えて生き残りにかけているのです。
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	知事効果によって一部の業種は良い影響を受けているが、市全体としてはまだまだ景気は悪いと思う。観光業も昨年の秋くらいから忙しいが、過去の低迷期をカバーするまでには至っていない。
サービス業	広告代理業	宮崎	平成19年度は、当社にとっても前年売上、目標値ともクリアできたが、来期は原油高、サブプライム問題等による景気後退の影響を受けるのではないかとされる。行政に対しては、県内企業の売上促進につながる施策をお願いしたい。
サービス業	旅館業	延岡	延岡駅周辺の再開発と鉄道高架又は、中心市街地へのアクセス道路の建設を望む。
サービス業	ホテル業	延岡	スポーツ施設の充実。
サービス業	タクシー	日向	運輸業は原油の高騰が非常に経営の問題となっている。4048
サービス業	レストラン	高鍋	食品協会の一員として、安心と安全をモットーに全国的に活動しています。一部大手企業に於いてそれに反する行動を永年にわたって行ってきた事に怒りを禁じえません。氷山の一角ではないかと疑心暗鬼にとられます。一般商業界にも及んでくるはず。心ひきしめて経営に取り組みたいものです。
サービス業	ホテル	日南	県知事のトップセールスにより全国へ宮崎を発信し続けていて、宮崎市内には経済効果が出ているようだが、日南市内まではあまり効果が出ていない。各市町村もこの波に乗って観光客の勧誘をしてほしい。
サービス業	警備	日南	県外企業の勧誘、公共工事などの増加、宮崎に振るから根を生やしている企業の活性化に直接繋がる施策の実行をお願いしたい